

## 歌謡詩集「風の旋律年度賞」にて2度目の最優秀賞を受賞



5月23日、上芦別町在住の作詞・作曲家である藤田進さんご夫妻が、荻原市長を表敬訪問しました。

藤田さんは、「星すすむ」というペンネームで活動しており、北海道作詞家協会の令和5年度歌謡詩集「風の旋律年度賞」で最優秀賞を受賞。

今回の作品は「雪をんな物語」と

いう作品名で、葛西善蔵の短編小説「雪をんな」を基にした詩であり、ゆかりの地である新城町夫婦滝の文学記念碑などに何度も足を運び、練り上げたものです。

藤田さんは2012年にも最優秀賞を受賞しており、今回が2度目の受賞となりました。

## 市内各所にて「まちづくり懇談会」を開催

市は、5月23日から6月7日まで、市内10か所において「まちづくり懇談会」を開催しました。

懇談会では、令和6年度市政執行方針に基づく主要施策のほか、水道料金の改定、浄水場の更新などについて説明した後、市長との意見交換会を開催しました。

参加者からは、水道料金の改定による水道事業の経営への影響や地域公共交通、警察署の統合への不安などさまざまな意見が出されました。

意見交換の内容をまとめた懇談会の記録については、7月中旬に市公式ホームページに掲載するほか、市役所や公共施設等に配置します。



## 国際交流親善パーティーで外国人技能実習生などが親睦を深める



5月31日、市の外国語指導助手や市内の事業所で働く外国人技能実習生などを招いて、芦別市国際交流協会主催による国際交流親善パーティーが福祉センターで5年ぶりに開催されました。

ベトナム、インドネシアなど6か国15人が参加し、荻原市長らと会食しながら交流を深めました。

北日本精機(株)に勤務して2年目のベトナム出身、ホアン・ディン・タイさんは「日本の食事はおいしい。職場の同僚ともすぐに打ち解けました。両親は少しだけ心配していますが、連絡を取り合っています。芦別はベトナム人が少なくて寂しいのもっと増えるといいですね。」と話してくれました。

## 芦高ラグビー部4選手がU18合同チーム北海道代表に選出

芦別高校ラグビー部の4人がU18合同チーム北海道代表として選出され、6月30日(日)に秩父宮ラグビー場で行われる交流試合と、7月31日～8月3日に長野県上田市で開催される第20回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会に参加します。

選出されたのは、(=写真左から

=) キャプテンの小野晴也さん、吉田柚さん、高貝悠聖さん、片山琉雅さんの4選手。また、松浦顧問(=写真右=)も北海道ブロック監督として出場します。

6月3日に市役所を表敬訪問した4人は荻原市長と懇談し、キャプテンの声かけで入部したエピソードや大会への抱負などを語ってくれました。

